

2026 年度 外国語学部 長期留学生募集要項【英語圏】

応募締切： 2026 年 3 月 23 日（月） 16：45（時間厳守）

「長期留学生の選考について」

- ・選考面接：2026 年 4 月 7 日（火）9:00-17:00 までのいずれかの時間帯で行なう。
- ・面接会場：未定 ※選考日程の詳細はエントリー終了後、応募者へ別途連絡。
- ・面接内容：日本語による面接試験。
- ・評価資料：通算 GPA の得点、語学検定試験（TOEFL）の得点、面接を総合的に評価。
- ・応募基準：通算 GPA：2.10 以上（2025 年度後期終了時点）、TOEFL450 点以上
- ・応募資格：
 - 外国語学部 1 年次生（小学校教員免許課程履修希望者を除く）および 2 年次生（教職課程履修者を除く）
 - 常葉大学学生国外留学規程 第 4 条（資格）を満たす者。「(2) 学生納付金を完納している者」とは出発時にあたる学期の学納金を完納している者を意味する。延納・分納は認めない。
 - 出願書類を提出しても、選考試験に欠席した場合は原則「不合格」と判定します。

「奨学金について」

- ・長期留学選抜試験に合格した学生のうち、**通算 GPA 上位者の中から選考により奨学金を支給します。**
 - ※2026 年度の支給予定
 - 【欧米地域（英語圏、スペイン、ポルトガル）】100 万円（1 名）、50 万円（2 名）

「出願にあたって提出するもの」

- ・願書
 - ・誓約書
 - ・TOEFL の成績（スコア）証明書のコピー
- ※願書、誓約書は、UNIPA トップページ「リンク」> キャビネット（大学静岡 C）> 教務課>
草薙 C(Web 掲示板へ) ⇒大学⇒外国語学部⇒海外留学⇒長期留学 からダウンロードしてください。

「応募可能なプログラム」

留学先	ビクトリア大学 (カナダ)	グリフィス大学 (オーストラリア)
授業期間	9 月上旬～4 月上旬	9 月上旬～3 月中旬
受入先	English Language Centre	Griffith English Language Institute (Gold Coast Campus)
大学認定単位数	20 から 25 単位程度	20 から 25 単位程度

(上記は 2025 年 12 月現在の予想であり、変更の可能性があります。ただし、2026 年の GW 以前に帰国することが、2026 年度前期の本学の授業の受講要件です。)

◀留学費用について▶

- ・授業料、ホームステイ代、渡航費などを含めて、カナダ 200～350 万円、オーストラリア 250～350 万円程度かかります。ただし、渡航先の大学や為替レート、渡航先での生活の水準などによってこの金額は変動します。それぞれ、渡航先の大学のホームページなどを参照し、情報収集に努めるとともに、計画的に父母等と相談し、準備を進めてください。
- ・英語圏に関しては、これまで留学した先輩たちのアンケートがあります。FLSSC で閲覧してください。

◀単位認定について▶

- * 認定単位数は、これまで留学した学生の学習時間から算出した参考値です。皆さんの学習状況や学習時間、コース内容によって変動する可能性がありますので、記された単位数を必ず取得できるものとは限りません。
- * 海外での学習に対する認定は、「学部共通科目」の「海外留学 A」～「海外留学 F」の組み合わせによって行います。単位認定に際しては「優」、「良」などの判定は行わず、「認定」とします。そのため、GPA の計算に海外での学習に対する認定単位は含みません。卒業必要単位には「学部共通科目」として算入します。
- * 本来は留学期間中に常葉大学で履修するはずの必須科目のうち、渡航先の大学で同様の学習を行っている判断されるものについては、読み替えて単位認定を行います（例：Oral Communication IIB など）。先方の大学で同様の学習を行っていないものについては、次年度以降に履修します。
- *

◀その他、応募にあたっての留意事項▶

- * 留学にあたっては、入学申請手続き、ビザの取得、航空券の予約などを各自で行います。普段から外国語を意欲的に学習し、受身ではなく自ら調べて行動できる自立した学生を募集します。
- * 応募の前に、必ず父母等と留学について、海外での生活や資金面を含めて相談をし、留学の許可を得てください。決して、父母等への相談なしに応募をしないで下さい。
- * 帰国後、本学に戻って学業を継続し、留学体験発表会等の大学の諸行事に参加することが留学認定の条件です。
- * 2024年度以降入学の新カリキュラム学生は、卒業研究が必須となります。そのため、3年次の後期に長期留学した場合、4年次において専門セミナー I B と II B を平行して履修し、卒業研究の準備にあたらなければなりません。該当する学生はこのことを十分に留意し、計画的に卒業研究を進めてください。
- * 治安の悪化や疫病等の流行など派遣先地域での安全が確保されないと大学が判断した場合は、留学決定後や留学期間中であっても、留学中止もしくは帰国を指示する場合があります。その際は大学の指示に従ってください。
- * その他、学生便覧の「常葉大学 学生国外留学規程」をよく読んで上で、応募をして下さい。

【問い合わせ先】 2025 年度担当者（※2026 年度担当者については4月に発表されます）

- * 学部国際プログラム委員：那須野絢子 江口佳子
- * 英米語圏長期留学プログラム担当：那須野絢子
- *

常葉大学長期留学の応募から単位認定までの流れ

1月

- 情報収集（FLSSC 配架のアンケート参照、先輩留学生に相談、教員に相談等）
- 長期留学説明会に参加

2月～3月

- 留学先の決定（国、大学、費用等を検討し父母等と相談）
- 常葉大学奨学金の申請の有無を父母等と検討
- 願書の作成（父母等に承認していただくこと）
- 誓約書の記入（父母等署名欄あり）

3月～4月

- 願書、誓約書を合わせて提出（応募締め切り厳守）
- 長期留学選考会（スーツ着用）
- 結果発表
- 第1回長期留学オリエンテーション（以降複数回開催）
- 各自、3月中旬より早急に進めるべきこと

【注意】 ビザの取得等に時間がかかるため、早めに行動すること

- ① 留学先へ入学願書送付
- ② 航空券手配 * 今年はや早めの手配を！
- ③ ビザ取得

※英文の在学証明書、成績証明等が必要にある場合があります。発行には時間がかかるので、必要な場合は早めに教務課に申請すること。

- ④ 授業料等を留学先の大学へ送金

6・7月

- 準備完了
- 認証式（スーツ着用）
- 海外保険加入手続き及び、渡航説明会

8・9月～

- 出発
- 到着報告（メールで担当教員に連絡）
- 近況報告（メールにて担当教員に複数回連絡）

帰国後

- ガイダンス出席（留学先の都合で出席できない場合：帰国後、早急に教務課へ）
- 長期留学報告書作成
- 留学先での学修状況（時間割、成績証明等）を提出し、単位認定の申請
- 『とこはことのは』の記事作成
- オープンキャンパスでの留学ブース担当
- 留学報告会での報告

※『とこはことのは』への記事投稿やオープンキャンパスでの留学ブース担当は積極的に行うようにしましょう。